

ラボ紹介

今月号では、手嶋龍一教授が代表を務める2つのラボを紹介します。

手嶋 龍一 教授

NHKワシントン支局長やボン支局長を歴任。外交・安全保障の分野で数多くの著作がある。
専門分野: 巨大・複雑システムをめぐるインテリジェンスとクライシスマネジメント



VERSTAラボ (VERSTA Laboratory)

代表 手嶋 龍一 教授

メンバー 前野 隆司 教授、保井 俊之 特任教授、神武 直彦 准教授
博士課程、修士課程の学生

【概要】

本ラボはNPO法人VERSTAと共同して、南米アマゾン地区で新しい農法であるアグロフォレストリーの普及に協力することを目指しています。



研究会の様子



アグロフォレストリー活動の様子



NPO法人VERSTAのホームページ

▶ <http://www.versta.org/>

※VERSTAという名称は、ポルトガル語及びスペイン語の緑 (VERDE) とサンバ等の祝祭 (FESTIVAL) を合成したもので「緑の祝祭」を意味します。

【活動内容】

地球環境を保全するためには、CO₂の主要な吸収源である森林と海洋を守り育てていくことが重要です。森林は地球面積のわずか9%ですが、CO₂吸収源の約半数を占めています。とりわけ南米の熱帯雨林は非常に大切な役割を果たしてきました。しかしながら、近年、アマゾンの熱帯雨林では違法伐採が進み、年ごとにその面積を減らしています。その結果、大気中のCO₂残存量が増加し、地球温暖化が危惧されています。

熱帯雨林での違法伐採を防止し、地球温暖化に対処する方法として注目されているのがアグロフォレストリーです。アグロフォレストリーとは、農業 (Agriculture) と林業 (Forestry) の合作により農家収入の安定化を図ることで、違法森林伐採を防止し熱帯雨林を再生・保全する農法であり、サステイナブルな取り組みと言われています。

NPO法人VERSTAは、アグロフォレストリーを技術面、資金面で支援することを目的に設立されました。本ラボはこの取り組みに協力し、システムデザイン・マネジメントの手法を用いて、新規性の高いNPO法人の運営方法を提案します。また、本ラボの学生研究員はアドバイザーボードとしてNPO法人VERSTAに参加しています。

ソーシャルライフ・システムラボ (Social Life System Laboratory)

代表 手嶋 龍一 教授

メンバー 神武 直彦 准教授、博士課程、修士課程の学生および研究員

【概要】

本ラボは「次世代医療・医薬システムの構想と構築」をメインテーマとしています。現代の医療・医薬をめぐる諸問題の解決をめざし、持続可能な新たなシステムのデザインと、その有用性の検証を試んでいます。



ワシントンDCでの研修中に藤崎大使(前列中央)を訪問

【活動内容】

◆「医療・医薬研究開発システム論」講義とのコラボレーション

本ラボに所属する博士課程、修士課程の学生、さらには研究員の一部は、米国ワシントンDCで開催される特別講義に参加をしています。平成23年1月に行われた現地特別講義では、久能祐子特任教授、上野隆司博士ら第一線の研究者によるレクチャーに加え、最先端の研究施設であるNational Institute of Healthの「ワクチン・リサーチ・センター」を訪問しました。また、在ワシントン日本国大使館において、本研究科の特別招聘教授を務める藤崎一郎駐米全権大使との意見交換も行われました。

【今後の主な活動内容】

◆研究テーマ: 医療を中心とした産官学連携構想のシステム・デザイン
名前: 小川 徹(システムデザイン・マネジメント研究所 研究員 医師・医学博士)
研究対象: 静岡県ファルマバレー構想と神戸市医療産業都市構想
研究方法: 地域研究、財務分析(地方自治体と病院) など

(その他の活動内容)

- ・他大学医学部との共同研究によるドラッグ・ラグ問題の解決
- ・一般用医薬品メーカーとの共同研究による医薬品製造における問題点の解決



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属 SDM 研究所

〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾大学 協生館
Tel: 045-564-2518 Fax: 045-562-3502 E-mail: sdm@info.keio.ac.jp

SDM
System Design and Management